

鉱工業指数参考図表集  
(平成29年11月速報)

平成29年12月28日

経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

# 平成29年11月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

## 生産・出荷・在庫・在庫率指数

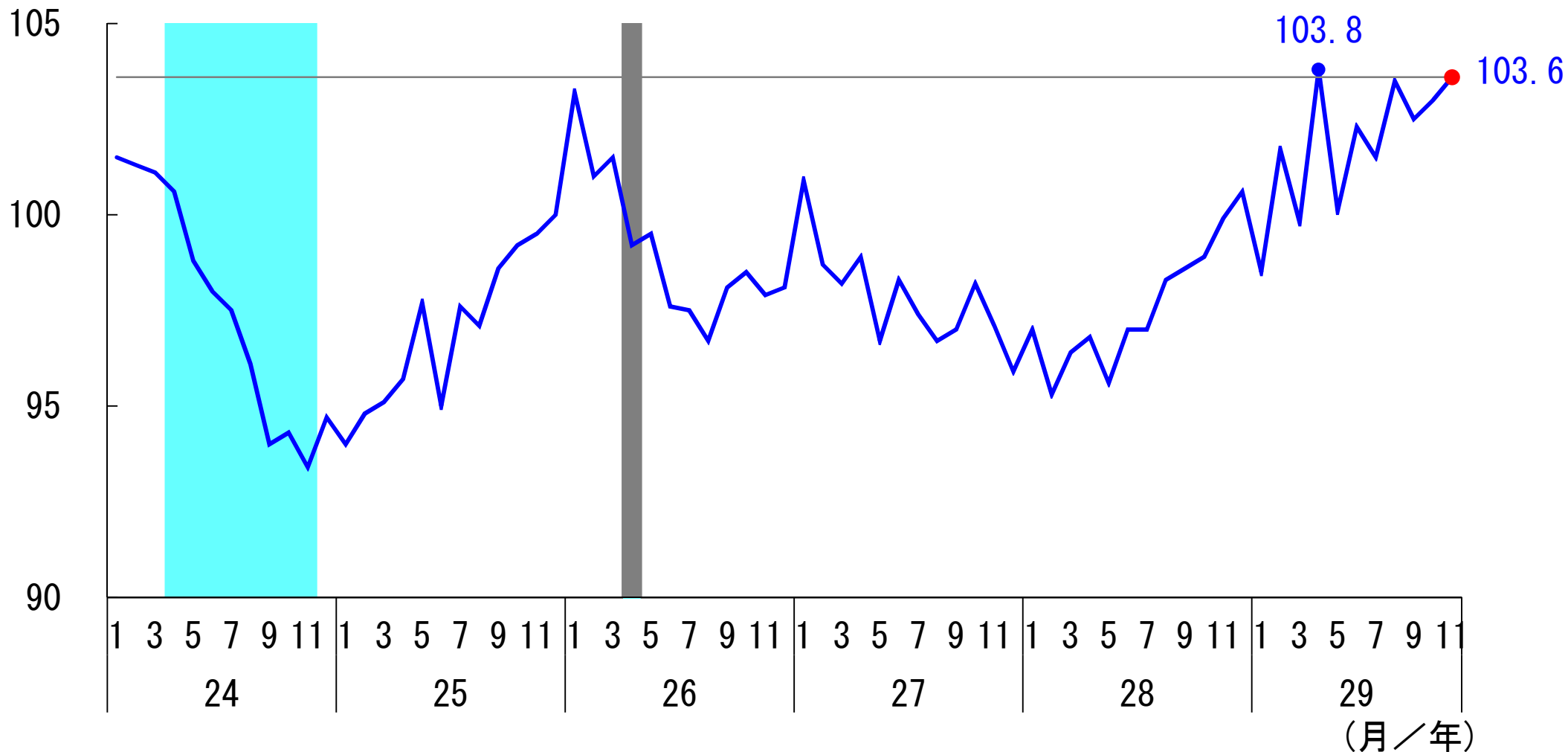
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	103.6	101.3	109.6	110.9
前月比	0.6%	2.4%	-1.0%	-2.9%
指数水準	H29. 4 103. 8以来  I H20. 2 117. 3 II H20. 1 117. 0 III H20. 3 116. 2	H29. 8 101. 8以来  I H20. 1, 2 118. 2 II H20. 3 118. 1 III H20. 5 116. 4	H29. 9 107. 3以来  ①H23. 3 97. 7 ②H22. 8 98. 3 ③H21. 12, H22. 9 99. 1	H29. 9 110. 3以来  ①H20. 2 94. 6 ②H20. 4 95. 9 ③H20. 5 97. 0
前月比の動き	2か月連続+ (H29.10~当月)	3か月ぶり+ (H29.8以来)	3か月ぶり- (H29.8以来)	3か月ぶり- (H29.8以来)
前月比幅	H29. 8 2. 0%以来  I H23. 5 6. 8% II H21. 4 4. 4% III H23. 6 4. 2%	H29. 6 2. 5%以来  I H23. 6 8. 0% II H23. 5 5. 6% III H22. 1 4. 3%	H29. 7 -1. 1%以来  ①H23. 3 -5. 8% ②H21. 2 -3. 9% ③H21. 3 -3. 1%	H29. 8 -4. 1%以来  ①H23. 6 -11. 7% ②H21. 6 -6. 7% ③H21. 3 -6. 0%
前年同月比(原指数)	3.7%	2.4%	2.8%	2.7%
前年同月比の動き	13か月連続+ (H28.11~当月)	13か月連続+ (H28.11~当月)	2か月連続+ (H29.10~当月)	2か月連続+ (H29.10~当月)
前年同月比幅	H29. 10 5. 9%以来  I H22. 3 29. 2% II H22. 2 28. 8% III H22. 4 23. 8%	H29. 10 2. 7%以来  I H22. 3 28. 4% II H22. 2 27. 0% III H22. 4 25. 4%	H27. 6 3. 9%以来  I H24. 3, 4 12. 1% II H23. 8 9. 0% III H23. 9 8. 1%	H28. 7 3. 6%以来  I H21. 2 64. 6% II H21. 1 54. 8% III H21. 3 47. 9%

※ I～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

# 鋳工業生産指数の動向

- 平成29年11月の鋳工業生産指数は、103.6(前月比0.6%)と2か月連続の上昇。
- 平成29年4月の103.8以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 鋳工業指数(IIP)とは、月々の鋳工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鋳工業全体の動きを示す代表的な指標。  
 2. 水色のシャドー部分は、景気後退局面。  
 3. 灰色のシャドー部分は、消費税率引上げ。

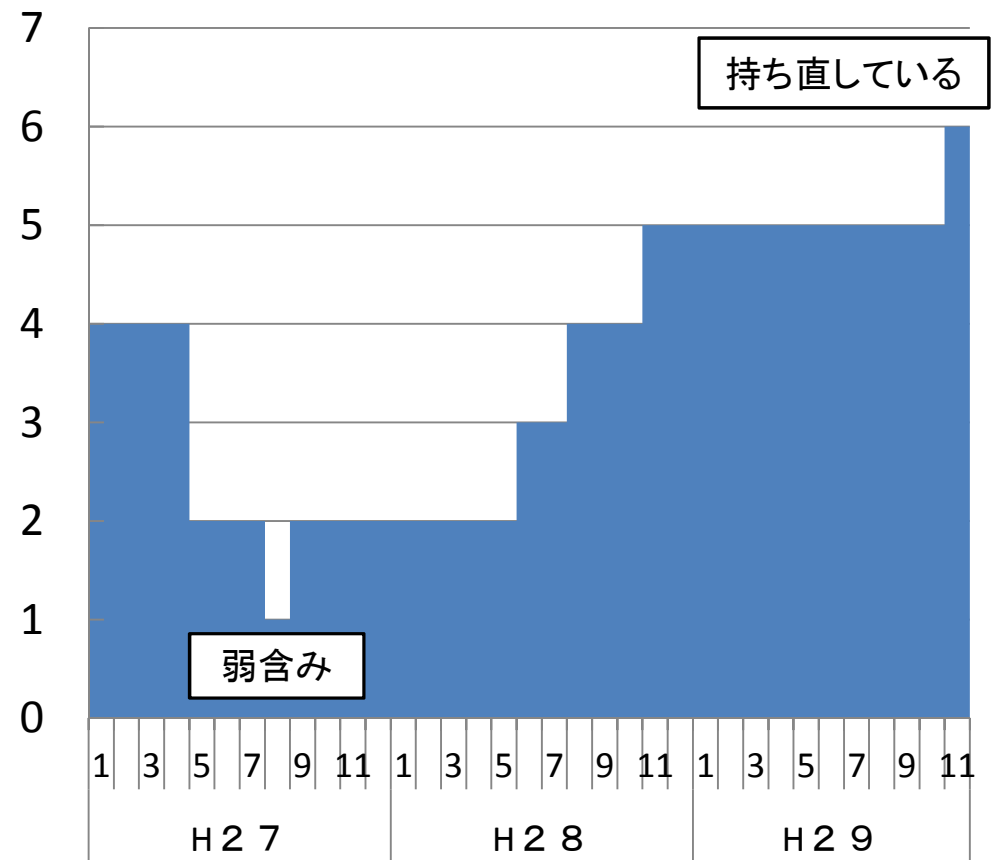
# 平成29年11月の鉱工業生産の基調判断

## 「生産は持ち直している」

### 基調判断の推移

- ・平成26年12月～平成27年4月  
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成27年5月～7月  
「生産は一進一退」
- ・平成27年8月  
「生産は弱含み」
- ・平成27年9月～平成28年5月  
「生産は一進一退」
- ・平成28年6月、7月  
「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」
- ・平成28年8月～10月  
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成28年11月～平成29年10月  
「生産は持ち直しの動き」
- ・平成29年11月  
「生産は持ち直している」

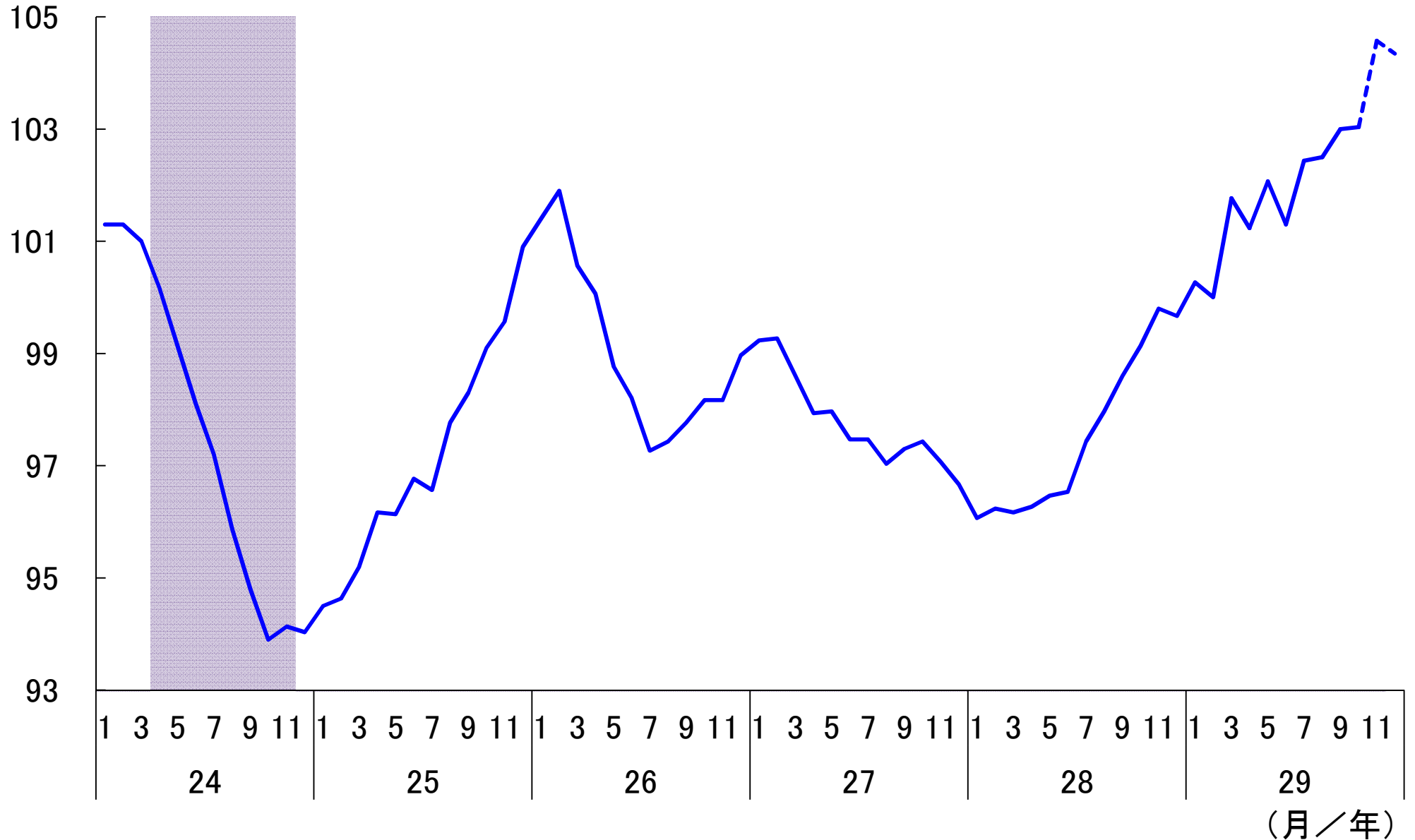
### 基調判断の変化



(注)平成27年8月の「生産は弱含み」を1として、基調判断が上方修正されたら一律で1上昇、下方修正されたら一律で1低下というルールで作成。

# 参考：鋳工業生産指数（3か月移動平均値）の動向

(22年=100、季節調整済)



(注)紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

# 平成29年11月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	3.1%	80.6%
	品目	半導体・フラットパネル製造装置	9.5%	34.8%
		土木建設機械	8.8%	24.3%
	2位の業種	電子部品・デバイス工業	4.3%	61.4%
	品目	集積回路	10.1%	61.7%
		電子部品	0.4%	2.4%
3位の業種	石油・石炭製品工業	6.1%	15.5%	
品目	石油製品	6.3%	15.6%	
	石炭製品	2.1%	0.1%	
鉱工業生産を低下方向へ引張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	化学工業（除. 医薬品）	-1.7%	-30.2%
	品目	化粧品	-2.1%	-12.3%
		プラスチック	-4.1%	-10.3%
	2位の業種	プラスチック製品工業	-1.0%	-8.5%
	品目			
	3位の業種	その他工業	-0.3%	-2.7%
品目	印刷業	-2.4%	-6.6%	
	家具工業	-4.0%	-4.8%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

# 平成29年11月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目(全体・財別)

## <全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を <b>上昇</b> 方向 に引っ張った3品目	1位	<b>集積回路</b>	<b>10.1%</b>	<b>61.7%</b>
	2位	半導体・フラットパネル製造装置	9.5%	34.8%
	3位	土木建設機械	8.8%	24.3%
鉱工業生産を <b>低下</b> 方向 に引っ張った3品目	1位	<b>産業用ロボット</b>	<b>-9.8%</b>	<b>-25.4%</b>
	2位	化粧品	-2.1%	-12.3%
	3位	プラスチック	-4.1%	-10.3%

## <財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与率
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	<b>資本財(除. 輸送機械)</b>	<b>4.0%</b>	<b>109.1%</b>
		半導体製造装置	12.2%	33.8%
		シヨベル系掘削機械	5.9%	13.1%
生産財	原材料として投入される製品	<b>生産財</b>	<b>0.8%</b>	<b>67.3%</b>
		モス型半導体集積回路(メモリ)	9.9%	29.9%
		モス型半導体集積回路(CCD)	12.8%	15.6%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	<b>耐久消費財</b>	<b>-0.5%</b>	<b>-8.0%</b>
		軽乗用車	-5.0%	-6.5%
		セパレート形エアコン	-3.7%	-5.0%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	<b>建設財</b>	<b>-0.9%</b>	<b>-8.5%</b>
		橋りょう	-15.0%	-7.6%
		システムキッチン	-4.9%	-2.2%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	<b>非耐久消費財</b>	<b>-1.1%</b>	<b>-26.8%</b>
		美容液	-12.7%	-15.2%
		乳液	-14.5%	-7.1%

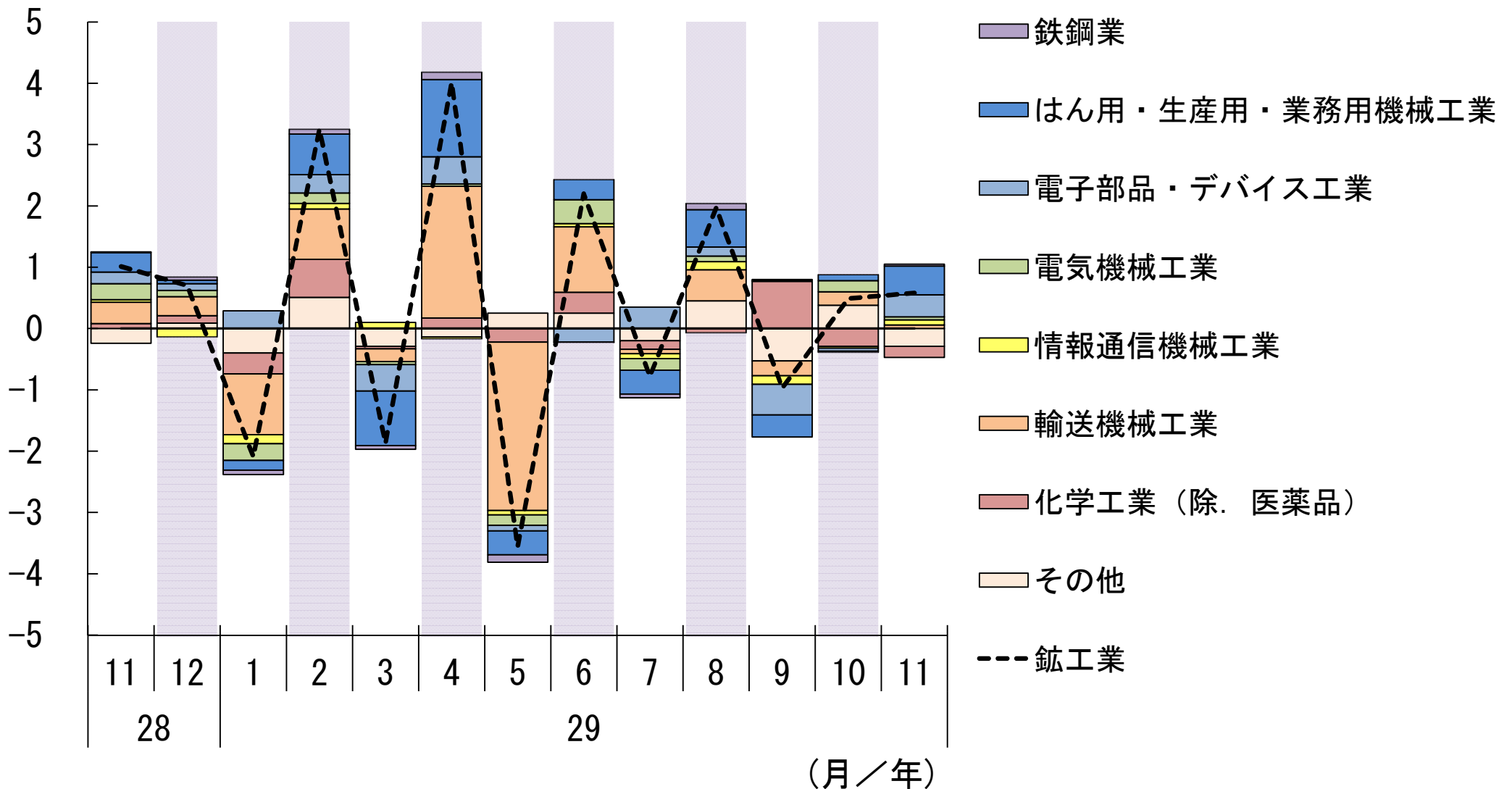
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

# 鉱工業生産前月比 業種別の影響度合い

- 平成29年11月の生産指数は、化学工業（除. 医薬品）が低下したものの、はん用・生産用・業務用機械工業などが上昇したため、前月比0.6%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

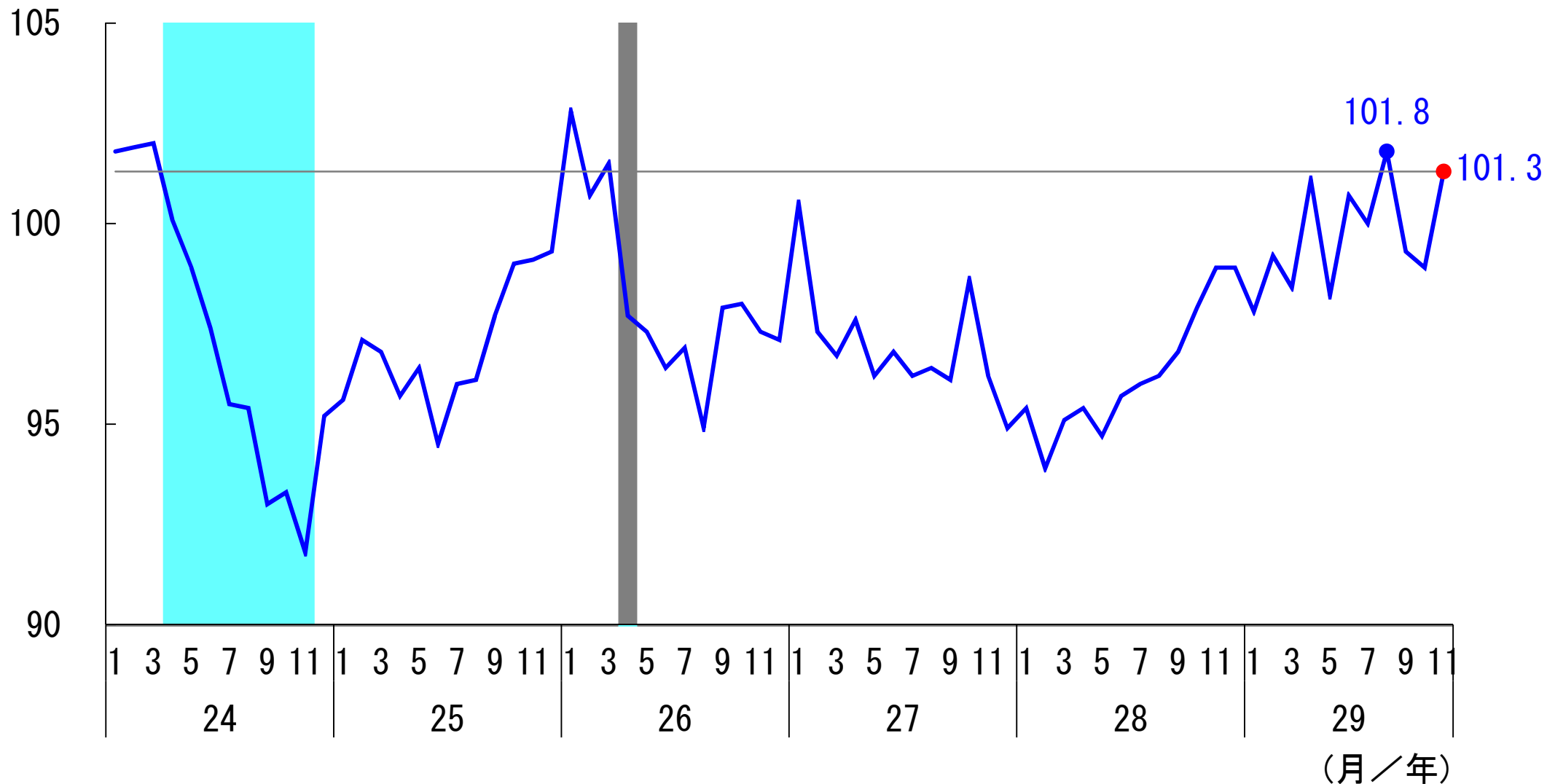




# 鋁工業出荷指数の動向

- ・平成29年11月の鋁工業出荷指数は、101.3(前月比2.4%)と3か月ぶりの上昇。
- ・平成29年8月の101.8以来の指数水準。

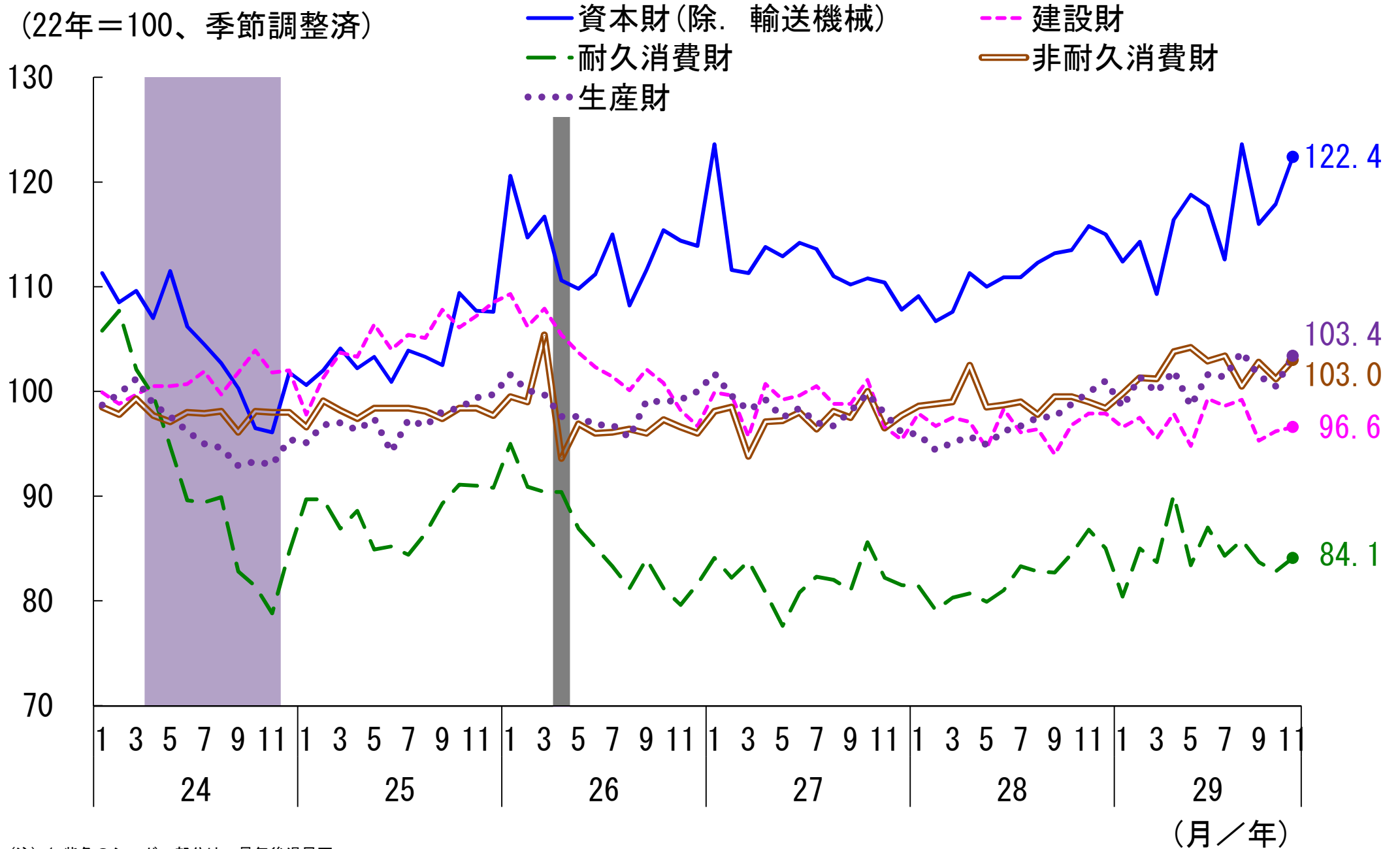
(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 水色のシャド一部分は、景気後退局面。  
2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

# 財別出荷指数の動向

(22年=100、季節調整済)

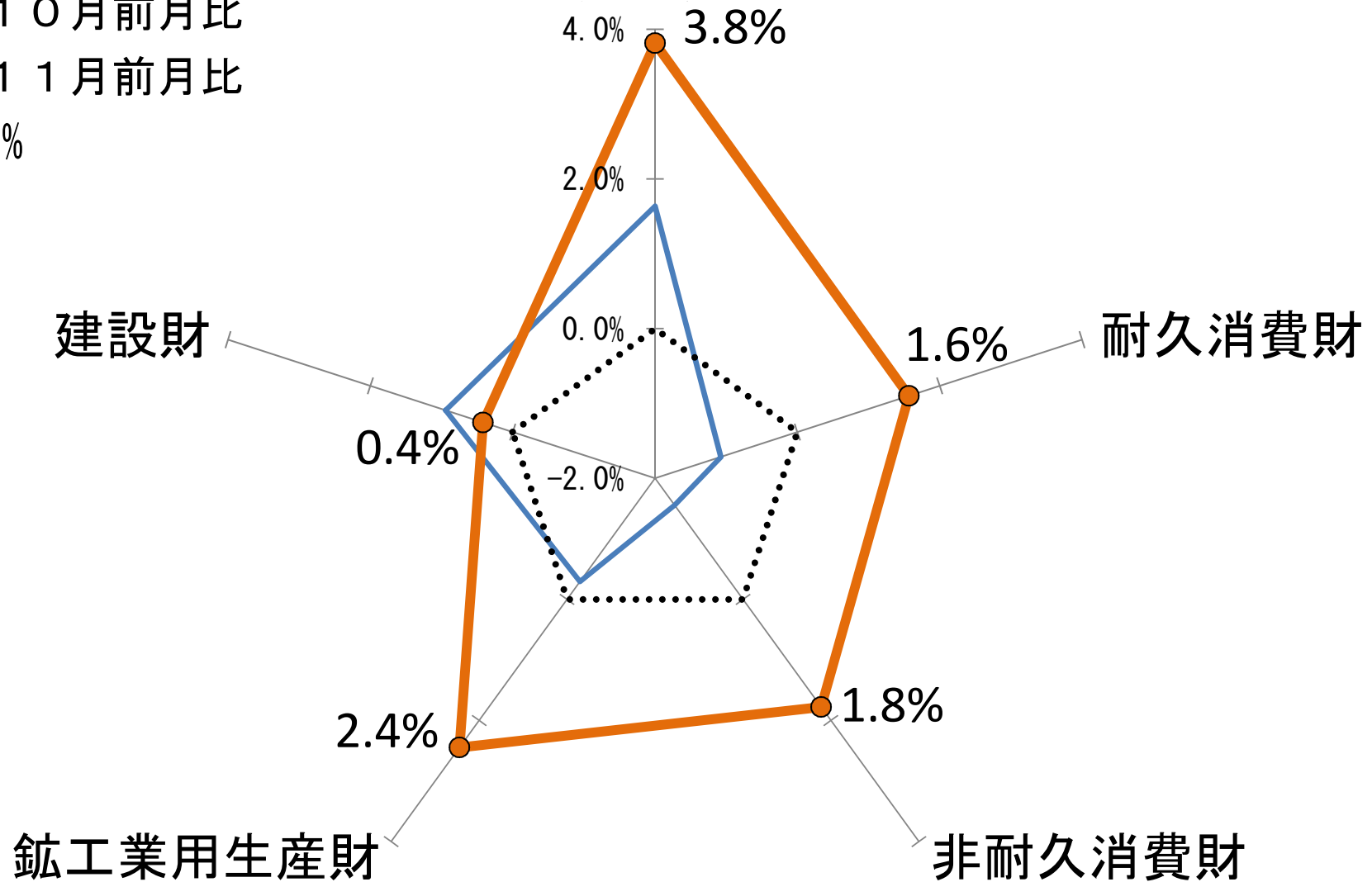


(注) 1. 紫色のシャドー部分は、景気後退局面。  
2. 灰色のシャドー部分は、消費税率引上げ。

# 財別出荷指数の前月比比較（平成29年10月、11月）

## 資本財(除. 輸送機械)

- 10月前月比
- 11月前月比
- .....0%



# 平成29年11月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目(財別)

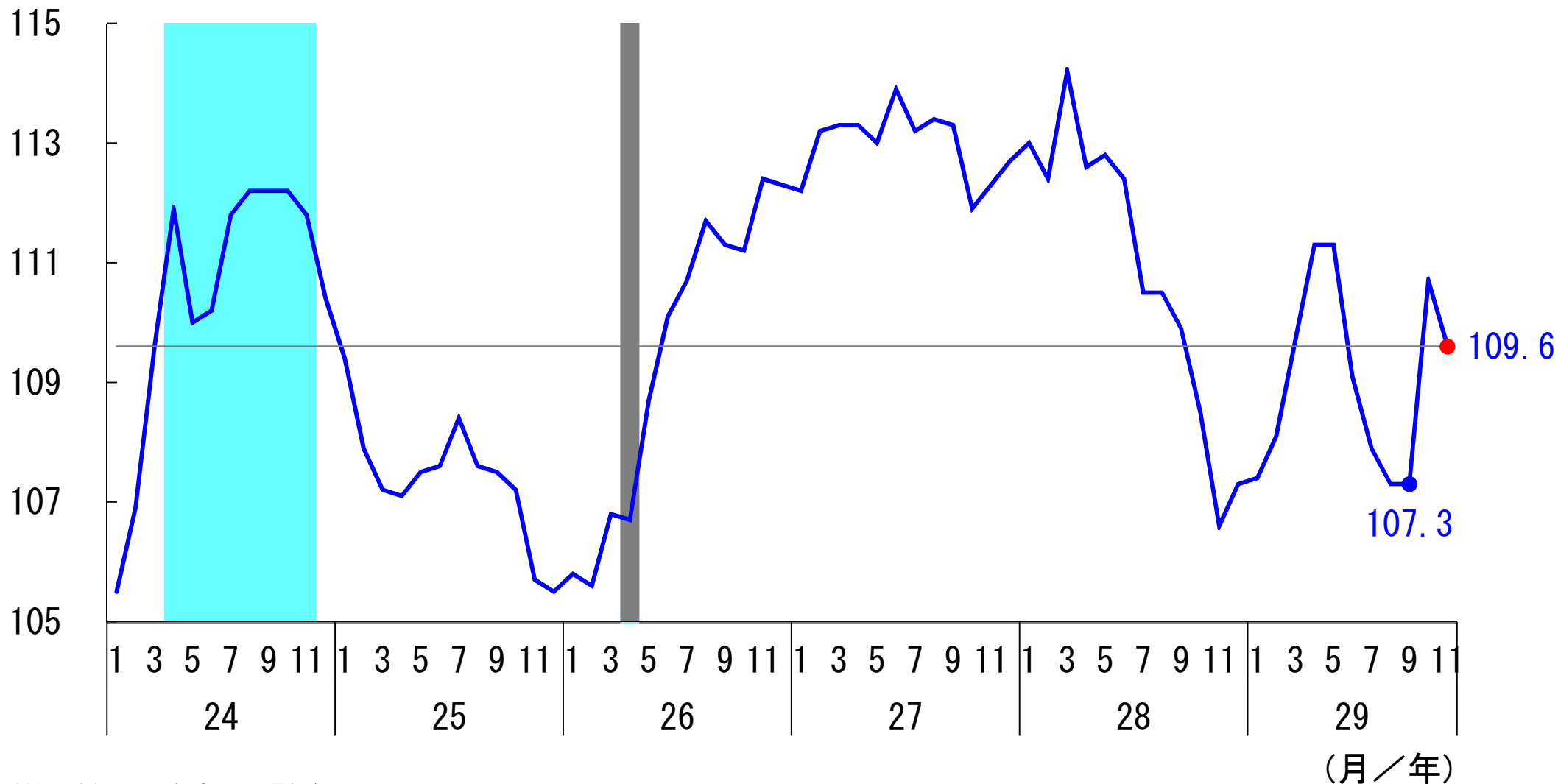
	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	<b>生産財</b>	<b>2.9%</b>	<b>60.8%</b>
		軽油	18.3%	6.9%
		普通鋼鋼帯	20.1%	5.6%
資本財	クレーンや金属工作機械など設備投資に向けられる製品	<b>資本財(除. 輸送機械)</b>	<b>3.8%</b>	<b>22.1%</b>
		半導体製造装置	10.9%	5.9%
		反応用機器	771.2%	2.4%
非耐久消費財	食料品や衣料品など家計で購入される製品	<b>非耐久消費財</b>	<b>1.8%</b>	<b>8.7%</b>
		ガソリン	3.5%	2.4%
		モイスチャークリーム	21.0%	1.7%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など家計で購入される製品	<b>耐久消費財</b>	<b>1.6%</b>	<b>8.3%</b>
		普通乗用車	3.9%	11.0%
		カーナビゲーションシステム	6.5%	1.4%
建設財	鉄骨やセメントなど建設投資に向けられる製品	<b>建設財</b>	<b>0.4%</b>	<b>0.9%</b>
		アルミニウムエクステリア	6.4%	0.6%
		普通鋼熱間鋼管	6.8%	0.5%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

# 鋳工業在庫指数の動向

- ・平成29年11月の在庫指数は、109.6(前月比-1.0%)と3か月ぶりの低下。
- ・平成29年9月の107.3以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

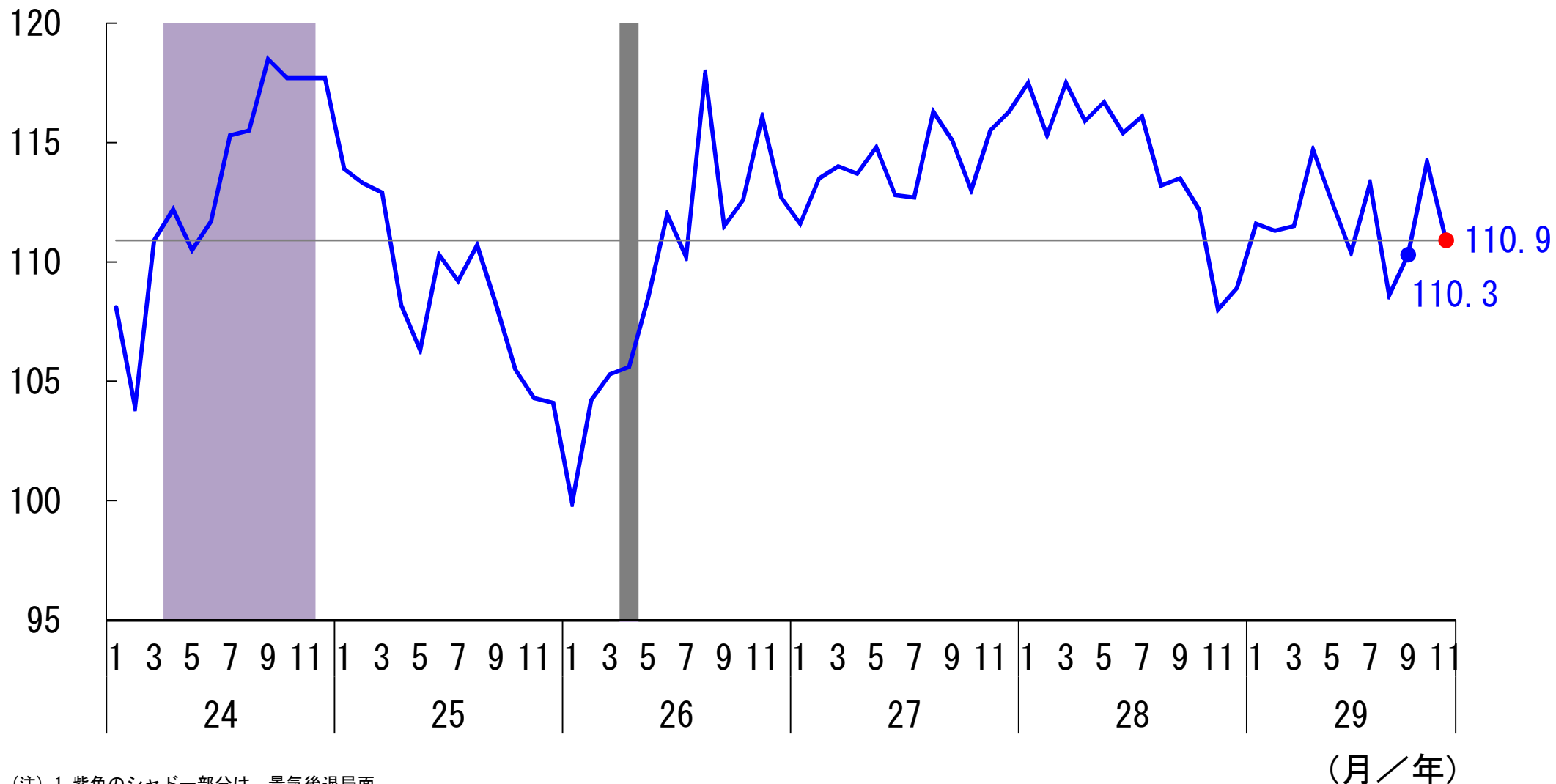


(注) 1. 水色のシャド一部分は、景気後退局面。  
2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

# 鉛工業在庫率指数の動向

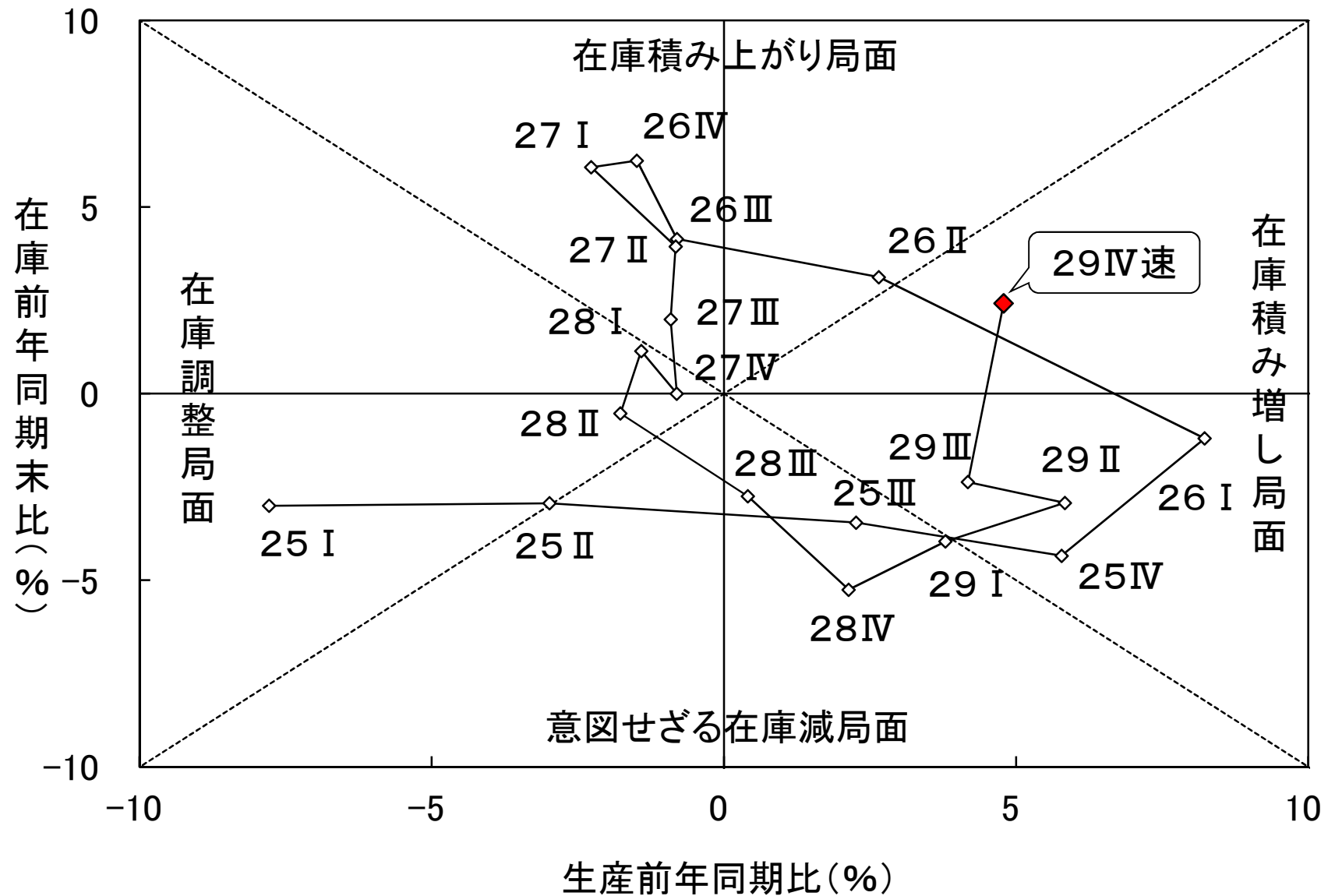
- ・平成29年11月の在庫率指数は、110.9(前月比-2.9%)と3か月ぶりの低下。
- ・平成29年9月の110.3以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



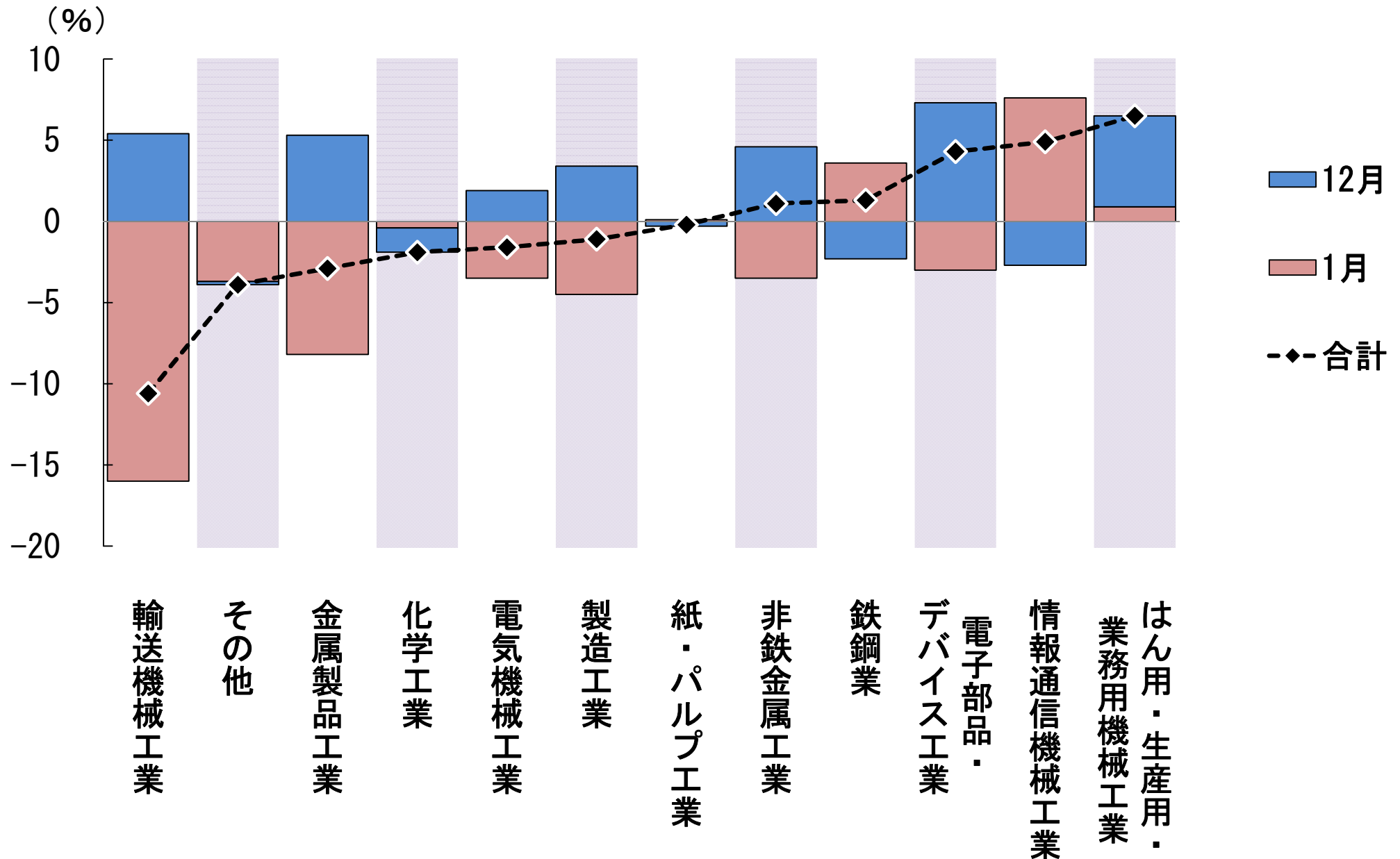
(注) 1. 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。  
2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

# 鋁工業の在庫循環図



(注) 「29 IV速」の生産は10、11月の平均値、在庫は11月末の値を使用。

## 2ヶ月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）





# 平成29年12月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
はん用・生産用・ 業務用機械工業	5.6%
輸送機械工業	5.4%
電子部品・ デバイス工業	7.3%
金属製品工業	5.3%
電気機械工業	1.9%
非鉄金属工業	4.6%

低下寄与業種	計画前月比
紙・パルプ工業	-0.3%
その他	-0.2%
情報通信機械工業	-2.7%
鉄鋼業	-2.3%
化学工業	-1.5%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

# 平成29年1月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
情報通信機械工業	7.6%
はん用・生産用・ 業務用機械工業	0.9%
鉄鋼業	3.6%
紙・パルプ工業	0.1%
低下寄与業種	計画前月比
化学工業	-0.4%

低下寄与業種	計画前月比
非鉄金属工業	-3.5%
その他	-3.7%
電子部品・ デバイス工業	-3.0%
電気機械工業	-3.5%
金属製品工業	-8.2%
輸送機械工業	-16.0%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。